

## 平成29年度総合事業の事業評価(案)

# 総合事業の事業評価について

## 1 事業評価方法の見直しについて

- ・これまで、介護予防事業評価として二次予防事業及び一次予防事業の評価を実施
- ・新しい総合事業においては、一般介護予防事業を含め、地域づくりの観点から総合事業全体を評価し、評価結果に基づき事業全体の改善を図ることとなるため、評価方法の見直しが必要
- ・これらを踏まえて、平成 29 年度からの事業実施状況の評価を見直す。

## 2 内容

### (1) 基本的な考え方

- ①評価は以下の3段階の指標を活用し、「総合事業（地域づくりを含む全体評価）」と「総合事業（介護予防・生活支援サービス事業評価）」に分けて行う。
  - ・ストラクチャー指標（事業を効果的かつ効率的に実施するための実施体制等に関する指標）
  - ・プロセス指標（事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等に関する指標）
  - ・アウトカム指標（事業成果の目標に関する指標）
- ②評価項目ごとに市による自己評価（4段階評価）結果をベースにして評価する。

#### 【評価指標の定義】

- 4点：できている
  - 3点：ある程度できている
  - 2点：あまりできていない
  - 1点：まったくできていない
- ③行政評価は市による自己評価の結果を、地域密着型サービス等審議会において審議したうえで、行政評価の結果を最終的に確定する。

### (2) 評価項目

- ①総合事業（地域づくりを含む全体評価）
  - ・地域の各種団体等との連携状況
  - ・地域課題やニーズの洗い出し
  - ・住民主体の通いの場への参加状況
  - ・65歳以上の新規認定者数及び割合 など
- ②総合事業（介護予防・生活支援サービス事業評価）
  - ・介護予防ケアマネジメントにおける連携状況
  - ・利用者に対する説明
  - ・介護予防・生活支援サービス事業実施状況
  - ・主観的健康観 など

### (3) 審査結果の公表

審査結果は、ホームページで公表する。

## 3 評価（案）策定に当たって参考とした資料

- ・地域支援事業実施要綱別添5「総合事業の事業評価」

## <参 考>総合事業の事業評価について

### 1 根拠規定（地域支援事業実施要綱 別記第1 第2-1-(2)-イ-(エ)）

#### (エ) 一般介護予防評価事業

##### ① 事業内容

一般介護予防事業評価事業は、介護保険事業計画において定める目標値の達成状況等の検証を通じ、一般介護予防事業を含め、地域づくりの観点から総合事業全体を評価し、その評価結果に基づき事業全体の改善を目的とする。

ただし、地域の実情を把握するための調査の実施にあたっては、介護保険事業計画の評価等を行う上で必要な項目を適切に選定し、調査結果に基づいて評価を行い、計画の見直しを行うこと。また、調査結果について、介護予防普及啓発事業の活用をする等、住民への情報提供に留意すること。

##### ② 実施方法

事業評価は、年度ごとに、別添5の「総合事業の事業評価」により、プロセス評価を中心に実施するとともに、アウトカム指標について評価することが望ましい。

### 2 実施方法（地域支援事業実施要綱 別添5「総合事業の事業評価」）

総合事業の実施に当たっては、ボランティア活動と有機的な連携を図る等、地域の人材を活用していくことが重要である。60歳代、70歳代を始めとした高齢者の多くは、要介護状態や要支援状態に至っていないことから、こうした高齢者が地域で社会参加できる機会を増やしていくことが、高齢者の介護予防にもつながることとなる。併せて、できる限り多くの高齢者が、地域で支援を必要とする高齢者の支え手となっていくことで、より良い地域づくりにつながる事となる。

このため、地域づくりの視点から、事業全体を評価した上で、要支援者等に対する介護予防・生活支援サービス事業について事業評価を行うこととする。事業評価をする際には、以下の3段階の評価指標を活用することとする。

- ① **ストラクチャー指標**：事業を効果的かつ効率的に実施するための実施体制等に関する指標
- ② **プロセス指標**：事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等に関する指標
- ③ **アウトカム指標**：事業成果の目標に関する指標

なお、評価の実施に当たっては、関係者間での議論が重要であることから、各市町村で開催している介護保険運営協議会や地域包括支援センター運営協議会等において議論することが重要である。また、地域の特性を活かしながら事業を運営することが重要であることから、以下の評価指標の視点を活かしながら、それぞれの地域の実情を踏まえたふさわしい評価指標へと内容を修正した上で、事業評価を実施することが重要である。

1 総合事業（地域づくりを含む全体評価）の評価項目について

指標名	指標内容	国実施要綱における評価指標の視点	市評価項目（案）	評価方法（案）
ストラクチャー指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための実施体制等に関する指標	①地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針及び目的について、分かりやすく説明することのできる職員の養成や、説明資料の整備ができていないか。	（１）地域包括ケアシステム構築に向けて市関係部署間とともに、地域包括支援センター、地域の各種団体等と連携する体制を構築できているか。  （２）協議体や地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）の設置による推進体制は構築できているか。	（１）及び（２）について、以下の４段階により評価し、具体的状況を記載する。  ４ できている ３ ある程度できている ２ あまりできていない １ できていない  以上の得点を平均したものをストラクチャー指標の得点とし、本項目全体の評価も記載する。
		②地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針及び目的を共有（規範的統合）し、総合事業を実施する上で、介護保険、高齢者福祉、地域福祉、健康増進、企画、市民活動推進、自治会支援、社会教育等の担当部署と広く連携する体制を構築できているか。		
		③地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針及び目的を共有（規範的統合）し、総合事業を実施する上で、地域包括支援センターと連携する体制を構築できているか。		
		④地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針及び目的を共有（規範的統合）し、総合事業を実施する上で、協議体を設置し、住民主体の活動、NPO法人、社会福祉法人、社会福祉協議会、地縁組織、協同組合、民間企業、シルバー人材等の多様な主体による多様なサービス提供体制を構築できているか。		
プロセス指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等に関する指標	①地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針及び目的を共有（規範的統合）できるよう、総合事業の企画・実施・評価のプロセスの中で、地域住民の意見収集や協議への住民参画が行われているか。	（１）地域課題やニーズの洗い出し等に向けた地域住民との話し合いはできているか。	（１）～（６）について、以下の４段階により評価し、具体的状況を記載する。  ４ できている ３ ある程度できている ２ あまりできていない １ できていない
		②地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針及び目的を共有（規範的統合）できるよう、介護サービス事業者、医療機関、民間企業、NPO法人、社会福祉法人、社会福祉協議会、地縁組織、協同組合、住民等のあらゆる関係者に働きかけを行っているか。	（２）市や地域支え合い推進員等を通じて、地域課題解決に向けた関係者への働きかけはできているか。	
		③自治会、社会福祉協議会、民生委員、老人クラブ、ボランティア、NPO法人、社会教育関係者の活動状況等について地域資源として適切に把握できているか。	（３）地域資源等の情報の見える化・共有化はできているか。	
		④介護予防の推進、生活支援の充実に関する行政課題を把握できているか。	（４）地域課題を行政として把握し、介護予防の推進や生活支援の充実に役立っているか。	
		⑤介護予防の推進、生活支援の充実を図っていく上で、長期的な視点をもって具体的な戦略を立てられているか。	（５）総合事業や地域の支え合い活動に関する苦情や事故を把握しているか。	
		⑥総合事業に関する苦情や事故を把握しているか。	（６）取り決めに基づき、関係機関（地域包括支援センター、医療機関、民生委員等）との個人情報の共有を行っているか。	
		⑦関係機関（地域包括支援センター、医療機関、民生委員等）において情報を共有するため、共有する情報の範囲、管理方法及び活用方法に関する取り決めをしているか。	（６）取り決めに基づき、関係機関（地域包括支援センター、医療機関、民生委員等）との個人情報の共有を行っているか。	

指標名	指標内容	国実施要綱における評価指標の視点	市評価項目（案）	評価方法（案）
プロセス指標 【定量評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等に関する指標	①介護予防に資する住民主体の通いの場への65歳以上の参加者数及び割合 (参加者割合=参加者数÷高齢者数) ◇年度ごとに任意の時点の介護予防に資する住民主体の通いの場への参加者の状況を集計し、時系列評価や地域間比較や他市町村と比較することで住民主体の介護予防活動の取組状況を評価する。	(7) 介護予防に資する住民主体の通いの場への65歳以上の参加者数	(7) 及び (8) については、以下の4段階により評価し、具体的状況(時系列・地域間比較含む)を記載する。 4 (7)、(8)とも前年度を上回っている 3 (7)のみ前年度を上回っている 2 (8)のみ前年度を上回っている 1 (7)、(8)とも前年度を下回っている
		②介護予防に資する住民主体の通いの場の状況 ◇年度ごとに任意の時点の介護予防に資する住民主体の通いの場を地図上にマッピングする等して、住民主体の介護予防活動の地域の展開状況を評価する。	(8) 介護予防に資する住民主体の通いの場の開催箇所数	(9) については、以下の4段階により評価し、具体的状況を記載する。 4 前年度実績を上回っている 1 前年度実績を下回っている
		<その他指標例> ・介護予防に関する講演会、相談会等の開催回数・参加者数 ・介護予防に関するイベント等の開催回数 ・介護予防に関するボランティア育成のための研修会の開催回数・育成数	(9) 介護予防普及啓発事業の実施状況 ①出前講座の開催回数と参加者数 ②介護予防活動支援の回数と参加者数 ③担い手育成のための研修会の開催回数と参加者数	プロセス指標【定性評価】及びプロセス指標【定量評価】全ての項目の得点を平均したものをプロセス指標の得点とし、本項目全体の評価も記載する。
アウトカム指標 【定量評価】	事業成果の目標に関する指標	①65歳以上新規認定申請者数及び割合 (新規認定申請者割合=新規認定申請者数÷高齢者数) ◇年度ごとに年間の新規認定申請者の状況を集計し、時系列評価、地域間や他市町村との比較を行うことで、住民主体の介護予防活動の推進状況と、生活支援の充実状況の評価に活用する。	(新規認定者数で足りるため用いない。)	(1) 及び (2) については、「新規認定者割合」、「認定率」の前年度比較、要支援・要介護度別内訳を総合的に勘案して以下の4段階により評価し、具体的状況(時系列・地域間比較含む)を記載する。 4 計画を下回るペースで推移している 3 概ね計画通りに推移している 1 計画を上回るペースで推移している
		②65歳以上新規認定者数及び割合(要支援・要介護度別) (新規認定者割合=新規認定者数÷高齢者数) ◇年度ごとに年間の新規認定者の状況(要支援・要介護度別)を集計し、時系列評価、地域間や他市町村との比較を行うことで、住民主体の介護予防活動の取組状況と、生活支援の充実状況の評価に活用する。	(1) 65歳以上の新規認定者数及び割合(要支援・要介護度別) (新規認定者割合=新規認定者数÷高齢者数)	(3) については、3年毎に地域の健康に関連する指標を総合的に勘案して以下の4段階により評価し、具体的状況(時系列・地域間比較含む)を記載する。 4 前回の調査時より改善している 3 概ね前回と同様である 1 前回の調査時より悪化している
		③65歳以上の要支援・要介護認定率(要支援・要介護度別) (認定率=認定者数÷高齢者数) ◇年度ごとに任意の時点の要支援・要介護認定率(要支援・要介護度別)を集計し、時系列評価、地域間や他市町村との比較を行うことで、住民主体の介護予防活動の取組状況と、生活支援の充実状況の評価に活用する。	(2) 65歳以上の要支援・要介護認定率(要支援・要介護度別) (認定率=認定者数÷高齢者数)	(4) 及び (5) については、これらの合計金額と後期高齢者の増加割合から、高齢者福祉・介護保険事業計画の計画値との比較を行い以下により採点するとともに、④、⑤それぞれの時系列評価や地域間比較等の具体的内容を記載する。 4 計画を下回るペースで推移している 3 概ね計画通りに推移している 1 計画を上回るペースで推移している
		④日常生活圏域ニーズ調査等による健康に関連する指標の状況 <健康関連指標の例> ・主観的健康観 ・社会参加の状況 ・運動機能 ・口腔機能 ・栄養状態 ・認知機能 ・閉じこもり ・うつ ・健康寿命 など ◇複数年度ごとに任意の時点における地域の健康に関連する指標を集計し、時系列評価、地域間や他市町村との比較を行うことで、住民主体の介護予防活動の取組状況と、生活支援の充実状況の評価に活用する。	(3) 日常生活圏域ニーズ調査等による健康に関連する指標の状況 <健康関連指標の例> ・主観的健康観 ・社会参加の状況 ・運動機能 ・口腔機能 ・栄養状態 ・認知機能 ・閉じこもり ・うつ	以上の得点を平均したものをアウトカム指標【定量評価】の得点とし、本項目全体の評価も記載する。 ※「1 総合評価(地域づくりを含む全体評価)」の全体の評価も記載する。
		⑤介護予防・日常生活支援総合事業の費用額 ◇年度ごとに年間の介護予防・日常生活支援総合事業の費用総額の伸び率と、後期高齢者の伸び率との関係等について、時系列評価や他市町村等と比較することで、事業の効率性の評価に活用する。	(4) 介護予防・日常生活支援総合事業の費用額	
		⑥予防給付と介護予防・日常生活支援総合事業の費用総額 ◇年度ごとに年間の予防給付と介護予防・日常生活支援総合事業の費用総額の伸び率と、後期高齢者の伸び率との関係等について、時系列評価や他市町村等と比較することで、事業の効率性の評価	(5) 介護予防給付の費用額	

2 総合事業（介護予防・生活支援サービス事業評価）の評価項目について

指標名	指標内容	評価指標の視点 (国実施要綱)	市評価項目(案)	評価方法
ストラクチャー指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための実施体制等に関する指標	①介護予防ケアマネジメントの実施に当たり、市町村、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所及びサービス事業提供者が、総合事業の趣旨や自立支援の重要性を共有し、連携する体制を構築できているか。	(1) 介護予防ケアマネジメントの実施に当たり、市町村、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所及びサービス事業提供者が、総合事業の趣旨や自立支援の重要性を共有し、連携する体制を構築できているか。	以下の4段階により評価し、具体的状況を記載する。 4 できている 3 ある程度できている 2 あまりできていない 1 できていない  以上の得点をストラクチャー指標【定性評価】の得点とする。
プロセス指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等に関する指標	①窓口に来た高齢者に対し、総合事業の目的、内容、サービスメニュー及び手続方法について十分な説明を行っているか。	(1) 窓口に来た高齢者に対し、総合事業の目的、内容、サービスメニュー及び手続方法について十分な説明を行っているか。	(1)～(6)について、以下の4段階により評価し、具体的状況を記載する。 4 できている 3 ある程度できている 2 あまりできていない 1 できていない  以上の得点を平均したものをプロセス指標【定性評価】の得点とし、本項目全体の評価も記載する。
		②介護予防ケアマネジメントに関する様式が統一されているか。	(2) 介護予防ケアマネジメントに関する様式が統一されているか。	
		③介護予防・生活支援サービスの実施状況を把握しているか。	(3) 介護予防・生活支援サービスの実施状況を把握しているか。	
		④介護予防・生活支援サービス事業の実施量と需要量の関係を的確に把握しているか。	(4) 介護予防・生活支援サービス事業の実施量と需要量の関係を的確に把握しているか。	
		⑤介護予防・生活支援サービス事業の実施状況の検証に基づき、次年度以降の計画の見直しを行っているか。	(5) 介護予防・生活支援サービス事業の実施状況の検証に基づき、次年度以降の計画の見直しを行っているか。	
		⑥要支援者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者の個人情報共有について、十分な説明を行い、同意を得ているか。	(6) 要支援者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者の個人情報共有について、十分な説明を行い、同意を得ているか。	
プロセス指標 【定量評価】		①介護予防ケアマネジメント依頼書受理件数 ◇年度ごとに年間の介護予防ケアマネジメント依頼書受理件数を集計し、実施状況を評価する。	(次項目の「介護予防・生活支援サービス事業実施状況」でケアマネジメント実施件数の状況も集計することから用いない。)	訪問型・通所型サービスとともに、介護予防ケアマネジメントの利用者数及び実施回数等を以下の4段階により評価し、具体的状況(時系列・地域間比較含む)を記載する。
		②介護予防・生活支援サービス事業の実施状況 ◇年度ごとに年間の各種事業の実施状況を集計し実施回数及び利用者数により実施状況を評価する。 ◇訪問型サービス、通所型サービス、生活支援サービス別に実施回数及び利用者数(要支援1、要支援2、介護予防・生活支援サービス事業対象者別)を集計することが望ましい。	(7) 介護予防・生活支援サービス事業の実施状況	4 多様なサービス(を位置付けている計画)の実績が前年度を上回っている 1 多様なサービス(を位置付けている計画)の実績が前年度を下回っている  以上の得点をプロセス指標【定量評価】の得点とする。
アウトカム指標 【定量評価】	事業成果の目標に関する指標	①主観的健康感 ◇年度ごとに年間の介護予防・生活支援サービス事業の利用者について、利用前後の主観的健康感の変化を集計し、維持・改善割合(事業利用者のうち利用後に主観的健康感が維持・改善された者の割合)により介護予防・生活支援サービス事業の効果を評価する。	(1) 主観的健康感等	主観的健康感、要介護認定区分、基本チェックリストの該当項目の変化を総合的に勘案して以下の4段階により評価し、具体的状況(時系列・地域間比較含む)を記載する。 4 維持・改善率が前年度実績を上回っている 1 維持・改善率が前年度実績を下回っている  以上の得点をアウトカム指標【定量評価】の得点とする。 ※「2 総合評価(介護予防・生活支援サービス事業評価)」の全体の評価も記載する。



総合事業の評価シート(案)

I 総合事業(地域づくりを含む全体評価)

1 ストラクチャー指標(事業を効果的・効率的に実施するための実施体制等に関する指標)

<定性評価>

評価項目		得点
(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けて市関係部署間とともに、地域包括支援センター、地域の各種団体等と連携する体制を構築できているか。		
評価の根拠	具体状況を記載	

評価項目		得点
(2) 協議体や地域支え合い推進員(生活支援コーディネーター)の設置による推進体制は構築できているか。		
評価の根拠	具体状況を記載	

ストラクチャー指標【定性評価】総合		平均得点
		/4点中



2 プロセス指標(事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等に関する指標)

<定性評価>

評価項目		得点
(1) 地域課題やニーズの洗い出し等に向けた地域住民との話し合いはできているか。		
評価の根拠	具体状況を記載	

評価項目		得点
(2) 市や地域支え合い推進員等を通じて、地域課題解決に向けた関係者への働きかけはできているか。		
評価の根拠	具体状況を記載	

評価項目		得点
(3) 地域資源等の情報の見える化・共有化はできているか。		
評価の根拠	具体状況を記載	

評価項目		得点
(4) 地域課題を行政として把握し、介護予防の推進や生活支援の充実に役立っているか。		
評価の根拠	具体状況を記載	

評価項目		得点
(5) 総合事業や地域の支え合い活動に関する苦情や事故を把握しているか。		
評価の根拠	具体状況を記載	

評価項目		得点
(6) 取り決めに基づき、関係機関(地域包括支援センター、医療機関、民生委員等)との個人情報の共有を行っているか。		
評価の根拠	具体状況を記載	

<定量評価>

評価項目	得点
(7) 介護予防に資する住民主体の通いの場への65歳以上参加者数	
(8) 介護予防に資する住民主体の通いの場の状況	

評価の根拠	○主な活動内容												
		計		1.体操(運動)		2.会食		3.茶話会		4.認知症予防		5.趣味活動	
	通いの場の箇所数		箇所		箇所		箇所		箇所		箇所		箇所
	参加者実人数		人		人		人		人		人		人
	○体操の実施状況												
		計		1.毎回実施		2.不定期に実施		3.未実施		4.把握していない			
	通いの場の箇所数		箇所		箇所		箇所		箇所		箇所		箇所
	参加者実人数		人		人		人		人		人		人
	○開催頻度												
		計		1.週1回以上		2.月2回以上		3.月1回以上		4.把握していない			
	通いの場の箇所数		箇所		箇所		箇所		箇所		箇所		箇所
	参加者実人数		人		人		人		人		人		人
	時系列、地域間比較、他市町村との比較状況												

評価項目	得点
(9) 介護予防普及啓発事業の実施状況	

評価の根拠	①出前講座の開催回数と参加者数											②介護予防活動支援の回数と参加者数				③担い手育成のための研修会の開催回数と参加者数			
	開催回数		回	支援回数			回	開催回数			回	参加者延人数			人				
	参加者延人数		人	参加者延人数			人	参加者延人数			人	参加者延人数			人				

プロセス指標【定性評価】【定量評価】総合	平均得点
	/4点中

### 3 アウトカム指標(事業成果の目標に関する指標)

#### <定量評価>

評価項目											得点		
(1) 65歳以上の新規認定者数及び割合(要支援・要介護度別) ※新規認定者割合＝新規認定者数÷高齢者数													
評価の根拠		H27				H28				H29			
		認定者数		認定者割合		認定者数		認定者割合		認定者数		認定者割合	
	要支援1		人		%		人		%		人		%
	要支援2		人		%		人		%		人		%
	要介護1		人		%		人		%		人		%
	要介護2		人		%		人		%		人		%
	要介護3		人		%		人		%		人		%
	要介護4		人		%		人		%		人		%
	要介護5		人		%		人		%		人		%
時系列、地域間比較、他市町村との比較状況													

評価項目											得点		
(2) 65歳以上の要支援・要介護認定率(要支援・要介護度別) ※認定率＝認定者数÷高齢者数													
評価の根拠		H27				H28				H29			
		認定者数		認定者率		認定者数		認定者率		認定者数		認定者率	
	要支援1		人		%		人		%		人		%
	要支援2		人		%		人		%		人		%
	要介護1		人		%		人		%		人		%
	要介護2		人		%		人		%		人		%
	要介護3		人		%		人		%		人		%
	要介護4		人		%		人		%		人		%
	要介護5		人		%		人		%		人		%
時系列、地域間比較、他市町村との比較状況													

評価項目								得点			
(3) 日常生活圏域ニーズ調査等による健康に関する指標の状況											
評価の根拠		H25年度				H28年度					
		実人数		割合		実人数		割合			
		主観的健康観		人		%		人		%	
	社会参加		ボランティア		人		%		人		%
			スポーツ関係		人		%		人		%
			趣味関係		人		%		人		%
			学習・教育サークル		人		%		人		%
			老人クラブ		人		%		人		%
	基本チェックリスト		虚弱		人		%		人		%
			運動		人		%		人		%
			口腔		人		%		人		%
			栄養		人		%		人		%
			認知		人		%		人		%
			閉じこもり		人		%		人		%
			うつ		人		%		人		%
	時系列、地域間比較、他市町村との比較状況										

評価項目								得点
(4) 介護予防・日常生活支援総合事業の費用額								
(5) 介護予防給付の費用額								
評価の根拠	具体状況を記載							

アウトカム指標【定量評価】総合	平均得点
	/4点中

総合事業(地域づくりを含む全体評価)

## Ⅱ 総合事業(介護予防・生活支援サービス事業)

### 1 ストラクチャー指標(事業を効果的・効率的に事業実施するための実施体制等に関する指標)

#### <定性評価>

評価項目		得点
(1) 介護予防ケアマネジメントの実施に当たり、市町村、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所及びサービス事業提供者が、総合事業の趣旨や自立支援の重要性を共有し、連携する体制を構築できているか。		
評価の根拠	具体状況を記載	

ストラクチャー指標【定性評価】総合	平均得点
	/4点中



## 2 プロセス指標(事業を効果的・効率的に実施するための企画立案、実施過程等に関する指標)

### <定性評価>

評価項目		得点
(1) 窓口で相談にきた高齢者に対し、総合事業の目的、内容、サービスメニュー及び手続き方法について十分な説明を行っているか。		
評価の根拠	具体状況を記載	
評価項目		得点
(2) 介護予防ケアマネジメントに関する様式が統一されているか。		
評価の根拠	具体状況を記載	
評価項目		得点
(3) 介護予防・生活支援サービスの実施状況を把握しているか。		
評価の根拠	具体状況を記載	

評価項目		得点
(4) 介護予防・生活支援サービス事業の実施量と需要量の関係を的確に把握しているか。		
評価の根拠	具体状況を記載	

評価項目		得点
(5) 介護予防生活支援サービス事業の実施状況の検証に基づき、次年度以降の実施計画の見直しを行っているか。		
評価の根拠	具体状況を記載	

評価項目		得点
(6) 要支援者及び事業対象者の個人情報共有されることについて、十分な説明を行い、同意を得ているか。		
評価の根拠	具体状況を記載	

<定量評価>

評価項目

得点

(7)介護予防・生活支援サービス事業の実施状況

			H29				H30				H31				
			実施回数		利用者数		実施回数		利用者数		実施回数		利用者数		
訪問型	介護予防訪問介護相当事業	計		回		人		回		人		回		人	
		事業対象者		回		人		回		人		回		人	
		要支援1		回		人		回		人		回		人	
		要支援2		回		人		回		人		回		人	
	元気わくわくサポート事業(訪問型) ※多様なサービス	計		回		人		回		人		回		人	
		事業対象者		回		人		回		人		回		人	
		要支援1		回		人		回		人		回		人	
		要支援2		回		人		回		人		回		人	
	通所型	介護予防通所介護相当事業	計		回		人		回		人		回		人
			事業対象者		回		人		回		人		回		人
			要支援1		回		人		回		人		回		人
			要支援2		回		人		回		人		回		人
元気わくわくサポート事業(通所型) ※多様なサービス		計		回		人		回		人		回		人	
		事業対象者		回		人		回		人		回		人	
		要支援1		回		人		回		人		回		人	
		要支援2		回		人		回		人		回		人	
元気アップサポート事業 ※多様なサービス		計		回		人		回		人		回		人	
		事業対象者		回		人		回		人		回		人	
		要支援1		回		人		回		人		回		人	
		要支援2		回		人		回		人		回		人	
			H29				H30				H31				
			利用者数		左記の内、多様なサービスを位置付けた計画数		利用者数		左記の内、多様なサービスを位置付けた計画数		利用者数		左記の内、多様なサービスを位置付けた計画数		
ケアマネジメント	介護予防ケアマネジメント事業	計		人		件		人		件		人		件	
		事業対象者		人		件		人		件		人		件	
		要支援1		人		件		人		件		人		件	
		要支援2		人		件		人		件		人		件	

プロセス指標【定性評価】【定量評価】総合	平均得点
	/4点中

3 アウトカム指標(事業成果の目標に関する指標)

<定量評価>

評価項目							行政評価	
(1)主観的健康観等 ※利用前後の維持・改善割合								
評価の根拠		H29		H30		H31		
	主観的健康観		%		%		%	
	要介護認定区分		%		%		%	
	基本チェックリストの該当項目		%		%		%	

アウトカム指標【定量評価】総合							平均得点
							/4点中

総合事業(介護予防・生活支援サービス事業)							